

Business
Report

株主の皆様へ

第75期 報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日

証券コード：4636

トップメッセージ

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は当社事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。新たに株主となられた皆様には、心よりお礼申し上げますとともに、末永くご支援の程お願い申し上げます。

さて、このほど第75期の決算がまとまりましたので、ここに平成28年4月1日から平成29年3月31日までの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

《連結業績のご報告》

当連結会計年度の当社グループを取り巻く経済環境については、日本経済は、雇用情勢や企業業績の改善が続くなか、景気に改善の遅れはみられましたが緩やかな回復基調が続きました。中国やその他アジア地域の景気は緩やかではありましたが持ち直しの動きがみられました。

印刷インキの需要先である印刷業界においては、国内外で情報の電子化及び少子化の影響による出版・商業印刷が縮小傾向にあるなど、印刷需要は伸び悩んでおり、引き続き厳しい状況が続いております。特殊UVインキの関係する液晶パネル関連市場は、パネルメーカーの稼働は好調でしたが、一方で円高や、ディスプレイ材料の競争激化による材料価格の低下が進み、販売環境は厳しい状況が続いております。

このような事業環境の中、当期の売上高は、平版インキ、特殊UVインキの販売が減少したものの、UVインキの販売が増加したことにより、48億3,000万円（前期比2.7%増）となりました。利益面においては、割引率を見直したことによる退職給付費用増加などの人件費増加により、営業利益は24億2,700万円（前期比6.1%減）となりました。経常利益は、



代表取締役社長

ますだ よしかつ
増田 至克

持分法による投資利益6億9,400万円を計上したことにより、31億7,500万円（前期比9.8%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産売却益10億8,000万円、法人税等9億7,800万円を計上したことにより、32億300万円（前期比27.5%増）となりました。

《次期の連結業績の見通し》

次期の当社グループを取り巻く事業環境につきましては、国内外で景気が緩やかに回復していくと思われませんが、印刷業界の厳しい市場環境の影響を受けて、販売が伸び悩む恐れがあります。また、主原料の殆どが国外からの調達である為、資源の価格上昇及び為替相場の変動により調達価格に影響を及ぼす可能性があります。

このような状況の下、ユーザーニーズへの対応を更に強化し、当社グループが得意としておりますUVインキ、環境対応型インキ等高付加価値インキの拡販に努め、ユーザーの真に役立つ製品の開発を強力に推進してまいります。海外においては、中国をはじめとしたアジア市場では、市場の拡大に応じた生産能力の増強と販売の強化によりシェアを拡大し、欧米、南米、他の地域については、市場開拓を進め、UVインキ、環境対応インキの販売に注力してまいります。

《期末配当金》

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、長期的・安定的な配当を維持し、業績に応じた利益還元をしていくことを基本方針としております。

第75期の期末配当につきましては、平成29年3月25日に創業70周年を迎えることができましたことから、株主の皆様への感謝の意を表し、記念配当4円50銭加えた、1株あたり13円50銭とさせていただきます。当期の配当としては、平成28年12月に実施した中間配当金8円50銭を含め、1株当たり22円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

決算ハイライト

| 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|
| 48億3,000万円 前期比 2.7%増 | 24億2,700万円 前期比 6.1%減 | 31億7,500万円 前期比 9.8%減 | 32億300万円 前期比 27.5%増 |

Topics 1 新製品 省電力型対応UVインキ 「BEST CURE UV COREシリーズ」発表

当社は、長年にわたり蓄積したUVインキのコア技術を用い、新ブランド「BEST CURE UV CORE」を立ち上げ、2016年12月に発表、販売開始いたしましたので、ご紹介いたします。

《新ブランド「BEST CURE UV CORE」》

「BEST CURE UV CORE」は、当社がUVインキのリーディングカンパニーとして、社名である「T&K (技術とまごころ)」に立ち返り、ユーザーが使いやすい新たなインキとして開発しました。

UVインキの最大の特徴は、紫外線照射により一瞬で乾くこと。印刷には、インキを乾かすためのUV照射装置付きの印刷機が使われますが、照射装置にも省電力タイプなど様々な仕様があり、インキの種類も多様化し、ユーザーである印刷会社は、照射装置に合わせたインキを使い分ける必要がありました。

「BEST CURE UV CORE」は、印刷機を選ばず、どんなUV照射装置にも対応できるUVインキです。ユーザーのインキを使い分ける煩雑さやインキの在庫管理といった問題を解決します。さらに従来のUVインキの品質・性能をさらに向上させたハイレベルなUVインキとなっておりますので、ユーザーである印刷会社のみならず、発注者であるクライアントやエンドユーザーまで印刷物の仕上がりに満足いただけることでしょう。

昨年グッドデザイン賞を受賞したパウダーレスインキ「ベストワン キレイナ」と共に、ユーザーニーズに対応した高付加価値インキとして、国内外へより一層の拡販を目指してまいります。



Topics 2 T&K TOKAの事業紹介

当社の主力製品であるUVインキ。コンビニエンスストアの商品（カップ麺の容器やシャンプーのボトルなど）といった、実は身近なところで当社のインキが使われていることを第75期中間報告書でご紹介いたしました。まだまだUVインキが身近に使われているものはたくさんありますので、ご紹介いたします。

銀行といえば、「キャッシュカード」と「通帳」
擦れに強いUVインキが最適！



《身近なところにUVインキ》

私たちの生活でも、会社でも関係が深い「銀行」。皆さんも銀行の「キャッシュカード」と「通帳」をお持ちではないでしょうか。この2つには、UVインキが使われていることが多いです。その他にも、「振込票」や「入金票」といった伝票類や銀行ATMから出てくる「利用明細」もUVインキで印刷されています。

「振込票」などの伝票もUVインキ。
他にも「納品書」などビジネス関係の
伝票に多く使われます。

《擦れに強く、熱に強いUVインキ》

「キャッシュカード」や「通帳」、「伝票類」は、頻繁にATMなどの機械に通すことが多いですが、擦れや熱で簡単に剥げてしまうカードや印字が滲む通帳では、話になりません。擦れに対する耐久性と機械の熱に対する耐久性が求められます。

そんな要求に応えるのが、UVインキ。何度、振込や引出をしてもカードの印刷が剥がれにくいのは、擦れに強く、熱に強いUVインキならではの特徴です。実は身近なUVインキ。知らないところで、私たちの生活に浸透しています。

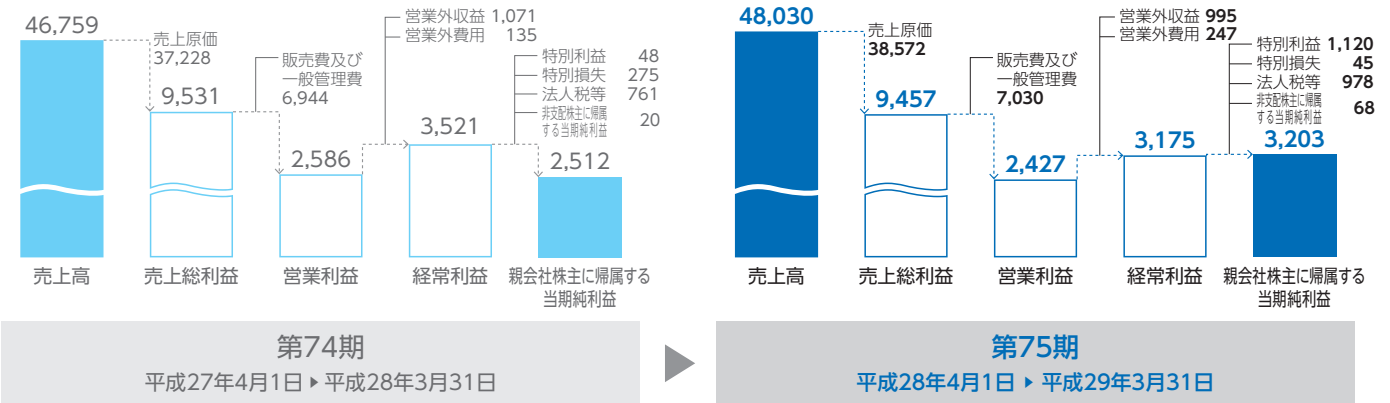


銀行でもいろいろと
使われています。

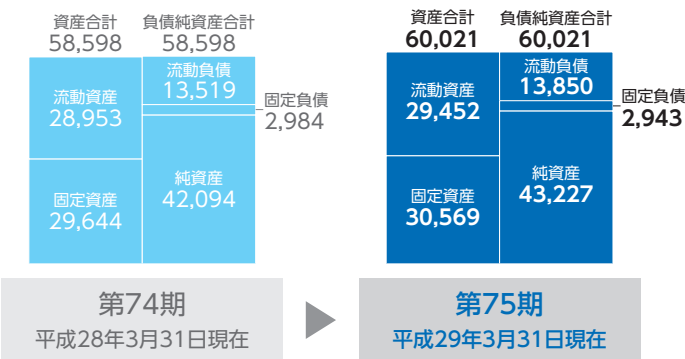


連結財務諸表

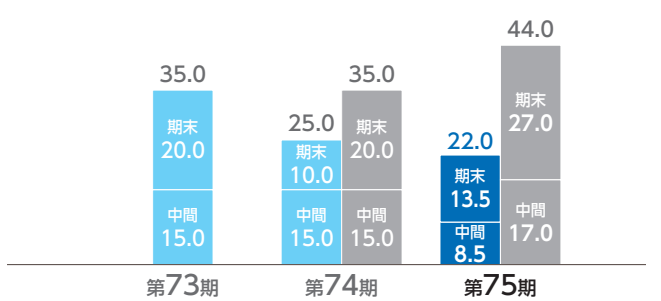
▶ 連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



▶ 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



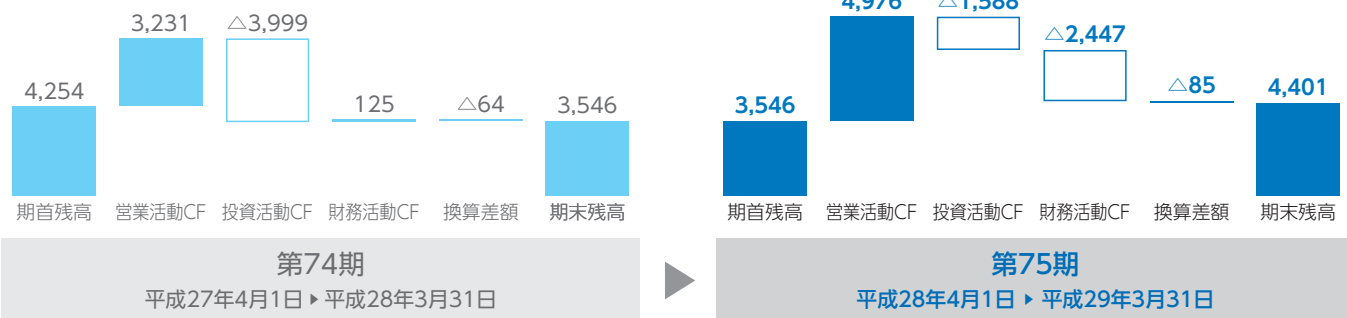
▶ 1株当たり配当金 (単位：円)



(注) 1. 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。第73期、および第74期中間配当金額は、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
2. 第74期、および第75期の配当金額につきましては、平成28年1月の株式分割を実施しなかった場合の配当金額を併記しております。

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

※ CF=キャッシュ・フロー



▶ 当期のポイント

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて14億2,200万円増の600億2,100万円となりました。これは、現金及び預金が10億3,900万円、有形固定資産が3億7,200万円、投資有価証券が4億4,800万円増加したものの、受取手形及び売掛金が2億5,700万円、流動資産（その他）が3億7,200万円減少したことが主要因であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて2億9,000万円増の167億9,400万円となりました。これは繰延税金負債が4億3,800万円、流動負債（その他）が3億6,000万円増加したものの、長期借入金が3億2,900万円減少したことが主要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて11億3,200万円増の432億2,700万円となりました。これは、利益剰余金が27億5,400万円増加したものの、為替換算調整勘定が9億1,600万円、自己株式取得により13億3,300万円減少したことが主要因であります。

会社の概要 (平成29年3月31日現在)

| | |
|-------|--|
| 商号 | 株式会社T&K TOKA T&K TOKA CO., LTD. (英文名) |
| 創業 | 1947年(昭和22年)3月25日 |
| 設立 | 1949年(昭和24年)12月23日 |
| 本社所在地 | 埼玉県入間郡三芳町大字竹間沢283番地1 |
| 代表者 | 代表取締役社長 増田 至克 |
| 資本金 | 20億6,487万円 |
| 事業内容 | 各種印刷用インキ及び印刷用・塗料用・接着剤用合成樹脂の製造・販売、印刷関連諸資機材の販売、輸出入貿易 |
| 従業員数 | 733名(54名) 注：パート及び嘱託社員は()内に平均人員を外数で記載 |

役員一覧 (平成29年6月22日現在)

| | |
|--------------|------|
| 代表取締役社長 | 増田至克 |
| 常務取締役 | 吉村彰 |
| 常務取締役 | 北條実 |
| 取締役 | 栗本隆一 |
| 取締役 | 中間和彦 |
| 社外取締役(監査等委員) | 木田卓寿 |
| 社外取締役(監査等委員) | 大高健司 |
| 社外取締役(監査等委員) | 久村泰弘 |
| 社外取締役(監査等委員) | 野口郷司 |

事業拠点 (平成29年3月31日現在)



| | |
|-----------|---|
| 海外拠点(子会社) | P.T. Cemani Toka (Indonesia) Toka Ink International (Hong Kong) Ltd. (Hong Kong) Korea Special Ink Industrial Co., Ltd. (Korea) Toka (Thailand) Co., Ltd. (Thailand) |
|-----------|---|

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 60,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 25,023,140株 |
| 株主数 | 7,079名 |

株主メモ

| | |
|----------|---------------------------------|
| 事業年度 | 4月1日から3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年決算期日の翌日から3ヵ月以内 |
| 剰余金配当基準日 | 3月31日および中間配当を行うときは9月30日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 |

| | 証券会社等に口座をお持ちの場合 | 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合) |
|---------------------------------------|--|---|
| 郵便物送付先 | | 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 電話 お問い合わせ先 | | フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) |
| 各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等) | お取引の 証券会社等に なります。 | みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店 プラネットブース(株式会社みずほ 銀行内の店舗)でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。 |
| 未払配当金の お支払 | みずほ信託銀行株式会社(※)及び株式会社みずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。 | |
| ご注意 | 支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。 | 特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 |

公告方法 当社の公告方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載しております。当社の公告掲載URLは次のとおりであります。
<http://www.tk-toka.co.jp/>

ホームページのご案内

当社ホームページは、IR情報や技術情報、会社情報等充実した内容となっております。どうぞご覧ください。



<http://www.tk-toka.co.jp/>